

人の五感を用いた児島湖の水質評価 令和7(2025)年度結果

I 人の五感による水質評価

児島湖の水質は、長期的には緩やかに改善してきましたが、近年は横ばい傾向にあります。岡山県及び岡山市では、児島湖の水を定期的に採取し COD や全窒素、全リンといった物質の濃度を測定することで水質の状況を把握していますが、県民の皆様にとってはわかりづらいものとなっています。

そこで、視覚や嗅覚などの五感を用いて児島湖の環境を調査できる「調べよう！児島湖調査隊マニュアル」(右図)を作成し、結果を点数化した指標により、児島湖の環境を総合的に評価しています。



調べよう！児島湖調査隊マニュアル

2 調査概要

(1) 調査の時期や場所など

令和7年度は、湖畔などの3地点で、のべ228名の方に調査していただきました。

調査日や場所は表Ⅰ及び図Ⅰのとおりです。



表Ⅰ 各調査の概要

場所	調査日	調査者	調査者数	天候
①	令和7年10月14日	玉原小学校4年生のみなさん	18名	晴れ
	令和7年11月6日	大崎小学校4年生のみなさん	14名	晴れ
	令和7年11月7日	福南中学校1年生のみなさん	110名	晴れ
	令和7年11月14日	今城小学校4年生のみなさん	25名	晴れ
②	令和7年5月13日	八浜小学校5年生のみなさん	24名	晴れ
	令和7年10月10日	八浜小学校5年生のみなさん	23名	晴れ
③	令和7年11月6日	大崎小学校4年生のみなさん	14名	晴れ





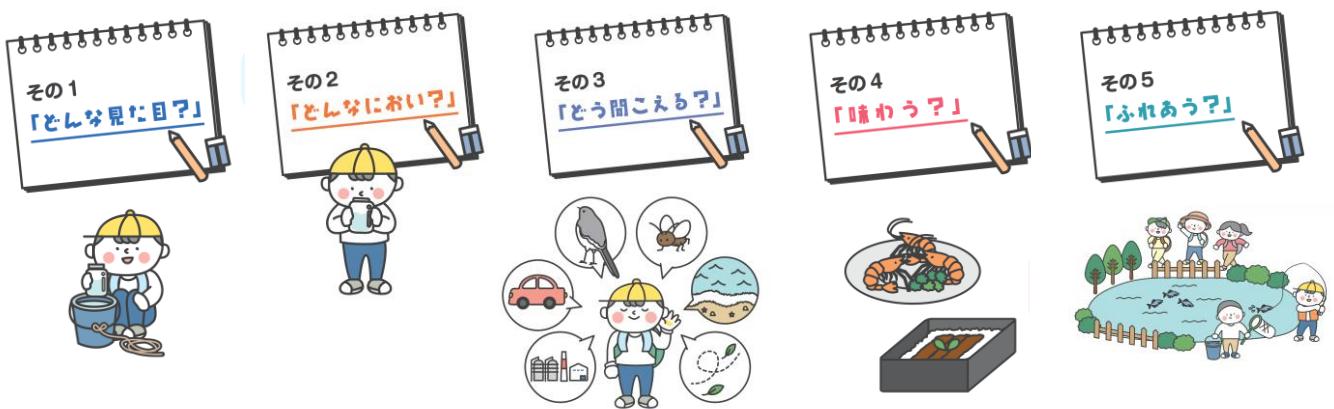
図1 調査場所位置図

(2) 調査及び評価の方法

マニュアルに沿って、湖畔から見た景色やビンに採水した湖水のにおいなどを調査し点数を付けていただきました。

表2 評価項目と評価点の基準

評価項目	評価点と評価基準		
どんな見た目？	とても良い (5点)	↔	どちらでもない (3点)
どんなにおい？	におわない (5点)	↔	におう (3点)
どう聞こえる？	心地よい音が聞こえた (5点)	↔	気になる音はない (3点)
味わう？	とても食べたいと思った (5点)	↔	時々なら食べたい (3点)
ふれあう？	とても遊んでみたい (5点)	↔	どちらでもない (3点)
		↔	全く遊びたいと思わない (1点)



3 評価結果

全ての調査者の平均点は 3.3 点でした。

評価項目別の点数別の調査者数の割合及び平均点は図2のとおりです。

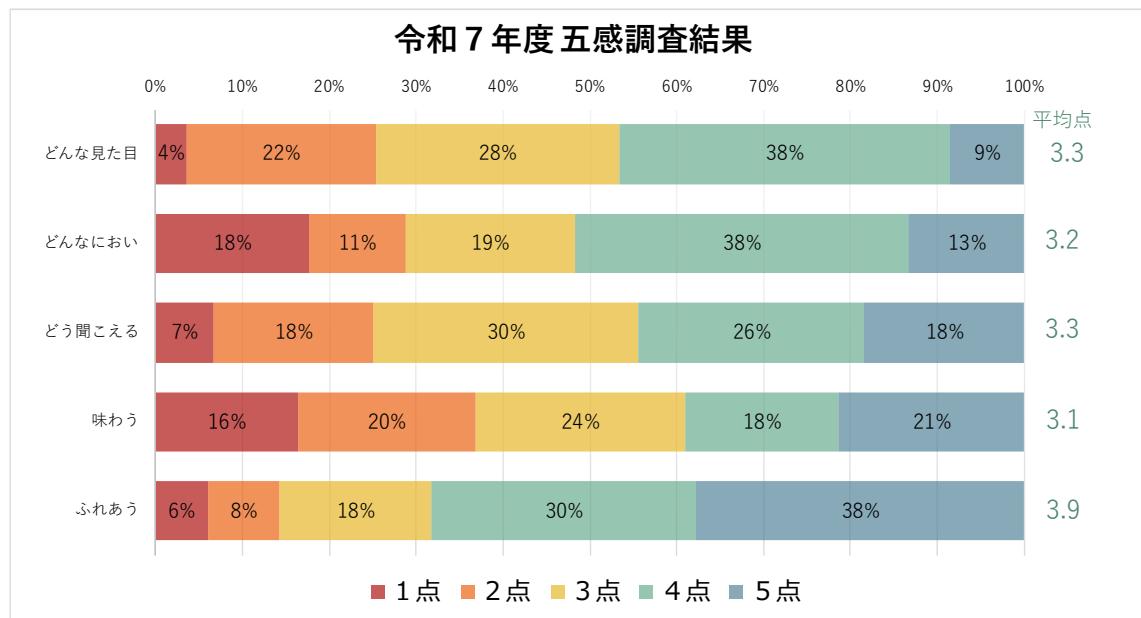


図2 項目別の平均点、点数別の調査者数の割合

いずれの項目も、調査者の半数以上が3点以上をつけていますが、漁獲物を食べたいかを問う「味わう」の評価が最も低く、それに次いで湖水のにおいを調査する「におい」の評価が低い結果となっています。

4 理想の児島湖

理想の児島湖に関する記述を集計した結果は表3のとおりです。

表3 理想の児島湖に関する回答数

記述内容		記述例	回答数 ^{※1}	割合 ^{※2}
見た目 関係	ごみ関係	ごみのない児島湖	35	10%
	ごみ以外	水がきれい。水が透き通っている。	145	41%
生き物 関係		生き物がたくさん。自然がたくさん。	81	23%
におい 関係		臭くない。	23	6%
音 関係		虫や鳥の声が聞こえる。	7	2%
味わう 関係		おいしい魚がとれる。	3	1%
ふれあう 関係		自然とふれあえる。キャンプができる。	21	6%
現状維持		今までいい。	0	0%
無記入		-	39	11%

※1 複数の評価項目に対応する意見を記述している場合は、重複して計上

※2 調査票回収数に占める割合（小数点第1位四捨五入）

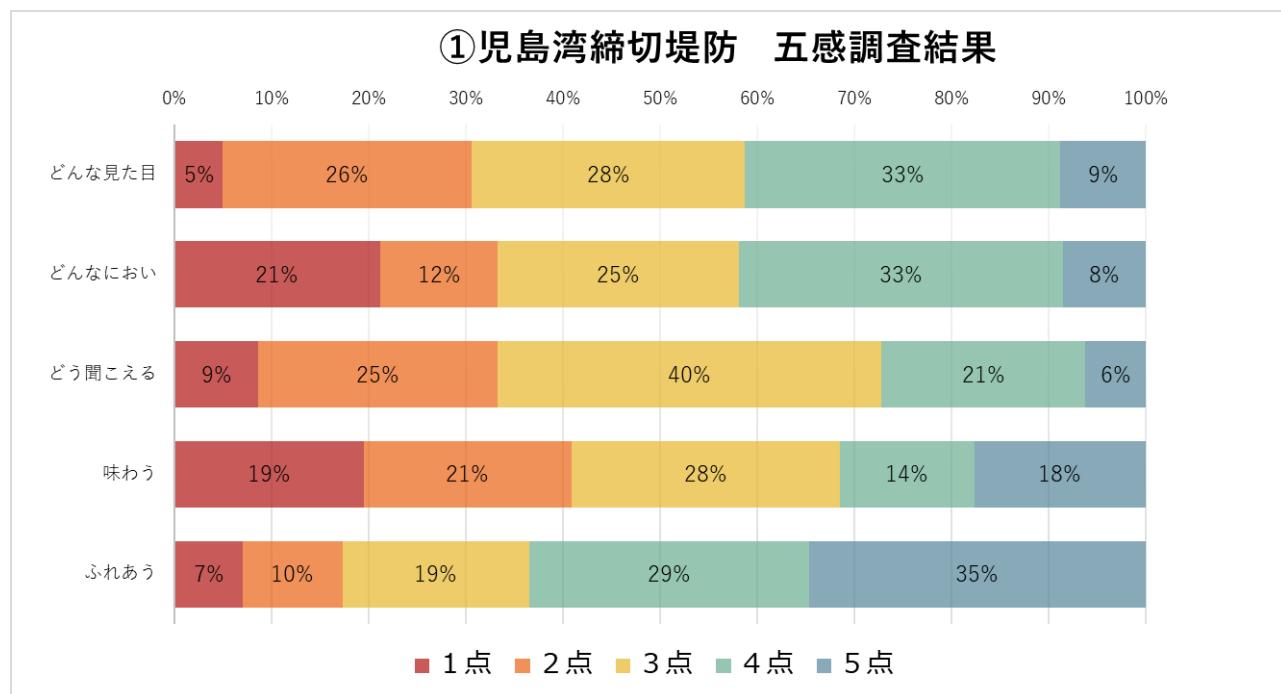
調査項目別に振り分けると上記3評価結果にて評価が低かった「におい」や「味わう」に関する記述よりも「見た目」や「生き物」に関する記述が多く、これらの項目を改善することが望まれていると考えられます。

<参考：調査場所別の評価結果>

総合点と評価点数の割合（令和7年度）

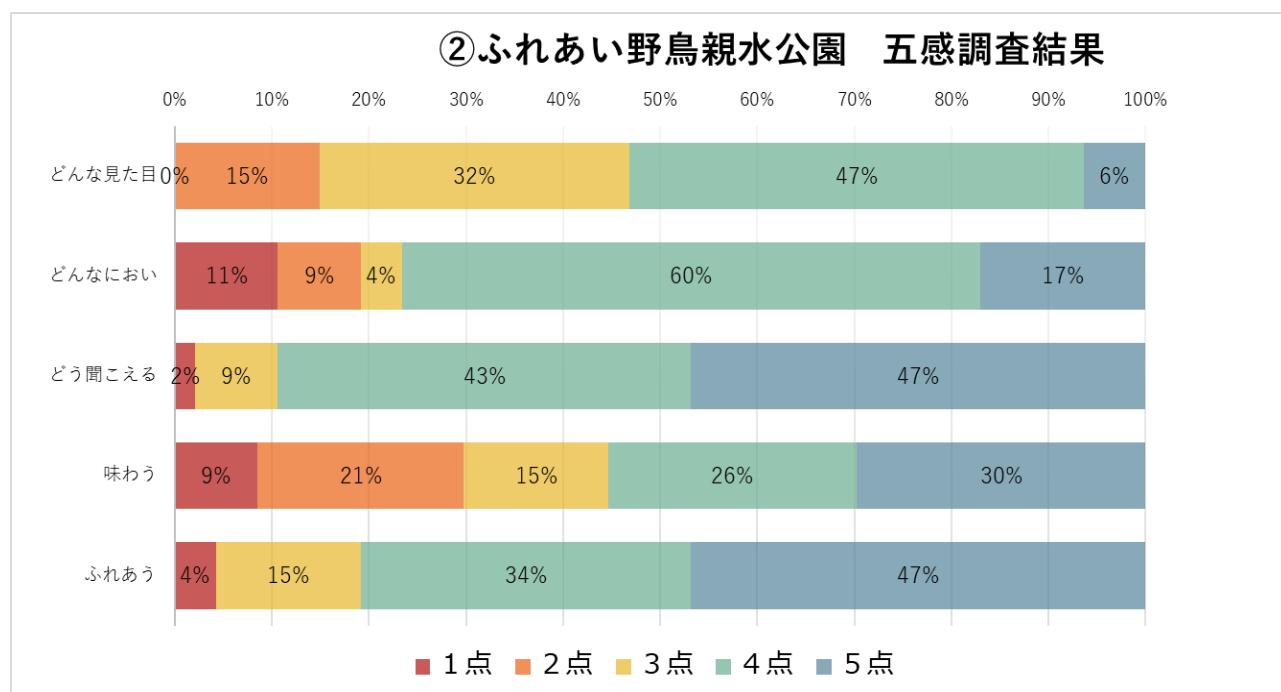
①児島湾締切堤防

総合平均点 3.1 点、見た目 3.1 点、におい 3.0 点、音 2.9 点、味わう 2.9 点、ふれあう 3.7 点



②ふれあい野鳥親水公園

総合平均点 3.8 点、見た目 3.4 点、におい 3.6 点、音 4.3 点、味わう 3.5 点、ふれあう 4.2 点



③螢遊の水辺

総合平均点 4.2 点、見た目 4.0 点、におい 4.4 点、音 4.5 点、味わう 3.9 点、ふれあう 4.1 点

